

校外学習から更なる学びを

中学部1年生は、11月25、26日に深圳市での校外学習を実施しました。校外学習は総合的な学習の時間（本校中学部ではCTの時間と呼んでいます）の一環として行っており、大きなテーマとして、「広州および深圳から持続可能な社会を考える！」を掲げ、学習を進めました。

事前学習では、前段階として、「広州」「深圳」のことを調査、そして発表資料へとまとめていきました。初めは、背伸びをするような難しい資料も回数を重ねるごとに咀嚼できるようになり、その成果が、授業参観日に設定した中間発表会にて見ることができました。中間発表では、生徒から「緊張したけど準備したことはしっかりと発表できた」と自信をつけることができたとの感想が聞かれました。このような経緯から「成果」「課題」を明確にし、目的意識をもった校外学習となりました。

1日目は、今年度初めてとなる「華強北博物館」に行きました。インターネットを活用して調べた「深圳の発展」を、博物館にある貴重な資料やガイドさんからの説明を受けることで、より身近に感じることができました。

2日目は、DJIを訪問しました。「ドローンと言えば、ラジコンの延長のようなもの？」という初めの印象から大きく変わり、「医療用」「農業用」など様々な分野でドローンが活躍していることを知り、大変興味深そうに話を聞いていました。また、実際にドローンを飛ばす体験もすることができ、大きな羽音に驚きながらも、旋回性能やカメラでの撮影などテクノロジーを生身で感じることもできたと思います。

これらの施設への訪問では、積極的に質問を行うなどの姿が多く見受けられました。事前学習で知識を得て、実際に体感してその偉大さに触れ、自分たちの言葉でまとめていくという過程を経て、2月の発表会を迎えました。発表会当日の表情を見ると、校外学習が充実した内容であったことを改めて実感することができました。

感染症対策の影響から延期を経て、校外学習を実施することができました。見学場所の調整や健康コードの諸準備などにおいて旅行業者や保護者に多大なご理解をいただきました。また、ご支援いただきました関係機関の皆様へ感謝すると共に、本校児童生徒へのさらなるご理解を賜りますようお願いいたします。

